

内分泌代謝・血液・老年内科学

Bedside-to-Bench Bench-to-Bedside

臨床マインド, 研究マインドを持つ
generalist かつ 専門医を育てる

<http://www.m.chiba-u.jp/dept/clin-cellbiol/>

血液分野 (堺田グループ)

血液分野では多くの造血器腫瘍に関する病態解明、新規治療開発を目標に、基礎研究/臨床研究に取り組んでいます

研究対象疾患と主なテーマ

- ・形質細胞性疾患
- ・多発性骨髄腫の腫瘍免疫解析
- ・多発性骨髄腫におけるT細胞応答の回復治療
- ・POEMS症候群の病態解明
- ・アミロイドーシス網羅的遺伝子解析
- ・白血病
- ・自然免疫シグナルから迫る白血病分子基盤研究
- ・悪性リンパ腫



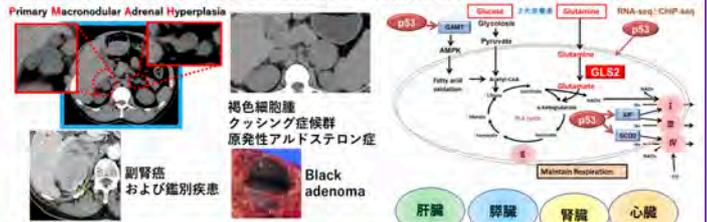
県内の千葉大学血液内科関連施設と連携して研究を行っています

医師主導前向き試験, 日本成人白血病治療共同研究機構 (JALSG) や関東造血幹細胞移植共同研究グループ (KSGCT)、日本造血・免疫細胞療法学会、日本骨髄腫学会データベースを用いた臨床研究にも積極的に取り組んでいます。
POEMS症候群に対する移植治療の有用性を検証する全国調査研究 (日本造血・免疫細胞療法学会研究)、骨髄腫患者における採取不良例の全遺伝子型研究 (日本骨髄腫学会研究)、移植前処置の適正化に向けたKSGCT original dataを用いた非再発死亡の検討 (KSGCT) など

指導担当: 堺田恵美子 准教授 esakaida@faculty.chiba-u.jp
三村尚也 講師、竹田勇輔 助教、塚本祥吉 助教、大島渚 助教

内分泌分野 (鈴木グループ)

副腎疾患、下垂体疾患、遺伝性
内分泌疾患の新たな分子病態解析 疾患に及ぼす影響と臓器連関



どのような遺伝子異常、エピジェネティックな変化、環境・代謝変化が起こり、ホルモン産生や腫瘍形成に影響を及ぼすか?

グルタミン代謝は多彩な生理作用を介して疾患にどのような影響を及ぼすか? —マウスを用いて解明する—

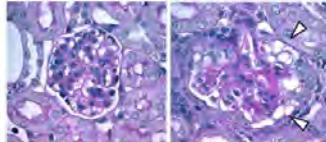
指導担当: 鈴木佐和子 講師 sawakosuzuki@chiba-u.jp

合併症・老化分野 (前澤グループ)

転写因子Tcf21の糖尿病合併症における役割



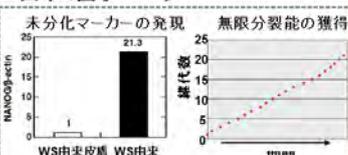
Tcf21を腎ポドサイト欠損させると糸球体障害が生じる



老化の仕組みの解明



山中4因子



指導担当: 前澤善朗 講師 yoshiromaezawa@chiba-u.jp

糖尿病分野 (小野グループ)

インスリンはどこに効いてどうやって血糖値を下げるのか?

2型糖尿病ではなぜそれが障害されるのか? ~実はまだよく分かっていないことを自分の手で解明しよう~

無麻酔非拘束下クランプ実験



インスリンにどのくらい血糖を下げる力があるかを測定



顕微鏡下 頸動脈・頸静脈カテーテル挿入術



薬や遺伝子の介入でインスリン感受性がどのように変わるか?

指導担当: 小野啓 准教授 hono@chiba-u.jp

細胞治療分野 (黒田グループ)

LCAT (レチン-コレステロールトランスフェラーゼ) 欠損症に対する遺伝子導入自家前脂肪細胞移植による蛋白補充療法



指導担当: 黒田正幸 特任准教授 kurodam@faculty.chiba-u.jp